キャラクター名
浩宇

プレイヤー名

シンドローム	ブラム＝ストーカー エグザイル	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	UGN中国支部エージェント
オプショナル		年齢	17	性別	男
覚醒	感染	衝動	吸血	初期侵食率	31 %
出自	複数の兄弟姉妹がいる	経験	喪失	邂逅	主人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3	1	0			4
感覚	3	0	0			3
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	29
行動値	7
(非装備時)	7
戦闘移動	12
全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：ﾚﾈｹﾞｲﾄﾞ	1		情報：UGN	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ゾディアックウェポン	白兵	4r+2	3	11		ﾀﾞﾒｰｼﾞﾛｰﾙ+1d10 侵蝕率+2

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ゾディアックウェポン	
造血剤	
サングイン	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
変異種ｲﾚｷﾞｭﾗｰ	P	N		
兄弟姉妹たち	P 幸福感	N 不快感		
UGN日本支部	P 尽力	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	2	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
鮮血の一撃	2	2	白兵					
効果：	ﾀﾞｲｽ+Lv+1個 HP2消費							
鮮血の奏者	3	4	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	視界	単体			
効果：	Lv点以下HP消費　攻撃力+消費HP+3							
伸縮腕	1	2	白兵	視界				
効果：	射程変更 判定ﾀﾞｲｽ-[3-Lv]個							
透過	1	4D10	ｵｰﾄ				120	
効果：	重圧時使用可　HPﾀﾞﾒｰｼﾞ0に変更　ｼﾅﾘｵ1回							
過剰反応	3	3	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ					
効果：	攻撃力+Lv*3　ﾀﾞｲｽ-2個　HP最大時使用不可							
ロイヤルブラッド	3	3	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ				Dﾛｲｽ	
効果：	ダイス+5個　ｼﾅﾘｵLv回							
アクティベイト	3	4	ﾏｲﾅｰ				Dﾛｲｽ	
効果：	Lv*3までHP消費　達成値+消費HP							
瀉血	1							
効果：	「まあ僕はイケメンだからね」							
生命治癒	1							
効果：	「僕は癒しの水瓶座だからね」							
美しき罪人	1							
効果：	「見なよ！僕のこのイケメンな姿を」							
効果：								
効果：								
効果：								

PC読み：チョン ハオユー
CN読み：ショワンウー

■パーソナルデータ
「僕ってイケメンだからさ」って平気で言うタイプの男。そこをのぞけば穏やかな美青年なのだが如何せん口を開けばイケメンであることを主張してくる。やめな？
実際顔面偏差値は万里の長城レベルで彼にとっては自己愛で語っているのでなくいたって純粋に事実を言っているつもりである。（のでよりタチが悪いともいえる）
両親不在(詳細は後述)、姉が三人（29，27，26歳）と弟（14歳）が一人いる。兄弟姉妹といるときは珍しくいつもよりも気苦労が多そう。特に姉たちは美意識が非常に高く「アンタ顔だけはいいんだから」とよく言われ散々スキンケアやらヘルシー食生活などを強要された。結果自他ともに認めるイケメン男が爆誕した。尚弟はジャンクフードが食べたいのでよく姉たちとけんかしている。大変そう。

■戦闘
自身の身を削りながら、一気に敵を遠隔攻撃する。
彼は変異種と呼ばれるレネゲイドを有しているため、自身の剣にレネゲイドを通わせると刀身から水のような血液が湧き出て濁流のように敵をのみこむ。

■背景（暇すぎて死にそうな人だけ見ればいいと思います）
中国で平凡に家族とくらしていたが幼少期のある時不運にも町中でFHのテロ行為……と呼ぶにはあまりに規模の大きすぎるもの、レネゲイド災害に巻き込まれてしまう。両親はその場でジャーム化し衝動のまま力をふるいつづけた。
UGNが駆けつけるも現場は混沌としておりすぐに対処などできず、救助にきたUGNチルドレンの一人が自分たちを守ろうと応戦するもジャームに打倒される始末。
どうすることもできないまま両親だったジャームが眼前に迫ってきた瞬間に無我夢中で目の前で息を引き取ったチルドレンの持っていた巨大な剣を手に取りふる